

# 設 立 趣 旨 書

## 1 趣 旨

現在の日本は長寿大国として知られています。経済的にも大変豊かであるが、その裏には様々な問題が隠れています。最近度々耳にする暗いニュース「介護者が介護に疲れて要介護者を殺害する…」これもその一つでしょう。その原因の一つには、核家族化による独居老人の増加、介護者の孤立があります。すなわち「レスパイトケア」と呼ばれる介護する側にとってのケア…これにはまだまだ理解も十分とは言えません。「老い」は誰にでも平等にやってきます。今日元気で健康な人も明日障害を負わないとは言えません。こう言った事を踏まえながら、自分自身が安心して「老い」を迎えられ、いつ障害者になっても、介護を家族だけの問題でなく社会・地域の問題として介護する側も、介護される側も「笑顔」で暮らせる社会・地域の人々と支え合う活動を展開したいと思います。

上記を踏まえ『人と社会と向き合う勇気』『お陰さま』この二つを念頭に地域社会に於いて「障害者」「障害児」「高齢者」に対し「自立支援」「QOL(生活の質・クオリティオブライフ)の向上」「身体的・精神的ケア」を行い、それに加えて、その「障害者」「障害児」「高齢者」の方々を抱えている家族のレスパイトケア(介護・看護負担の軽減と心身のケア)、これらの方々のネットワーク構築によって連携を深め、福祉輸送サービス、～明日香の家族～会の設立、ささえあい活動(助け合い事業)を展開する事で、自分自身が安心して「老い」を迎えられ、いつ障害者に成っても介護を家族だけの問題でなく社会・地域の問題として介護する側も、介護される側も「笑顔」で暮らせる社会・地域づくりを行い少しでも明るく健全な社会へ寄与する事を目的とします。

その事は、この法人の名称由来にも表されています。「一期一会」の精神を持ち、多くの方に愛される名称をめざし、子供から高齢者まで誰でも親しみやすく読めるよう平仮名で表記しました。最後の一文字「会=え」だけを漢字にしたのは「笑顔で暮らせる社会」にしたいと考えたからです。

～明日香の家族～は文字通り家族を意味します。「明日香」＝「法人」＝「私の子供」であると共に「皆様の愛される子供」と言う意味をも持たせました。

## 2 申請に至るまでの経過

申請者らは、仕事として、或いは市民のボランティアとして、或いは身近な親近者の介護・看護をして、様々な苦悩や、疑問を抱えながら活動(生活)を行ってきました。これらの活動(生活)に携わる中で、個々の活動の限界を感じてきました。そこで、地域に根ざした活動が出来、企業や自治体、行政に対する政策提言や社会教育施設の管理運営の受託も可能な特定非営利活動法人の存在を知り、上記の趣旨を目指す活動を進めることが必要であると結論するに至りました。

そこで平成17年12月に特定非営利活動法人設立準備委員会を立ち上げて設立の趣旨、定款、会費及び財産、平成18年度及び平成19年度の事業計画、収支予算、役員の名簿を審議し決定しました。更に、平成18年4月15日19時より設立総会を開き、今回、申請をする次第です。どうぞみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成18年4月15日

特定非営利活動法人いちごいち笑 ～ 明日香の家族 ～  
設立代表者 住所 日置市伊集院町徳重1786番地2  
前田平住宅4号棟106  
氏名 浅山 圭史 印